

第二十四回 吉次郎狂言会

プレトーク 大蔵 教義 (午後一時三十分)

鶏猫 けいみょう
藤三郎 大蔵 教義
何某 大蔵吉次郎
太郎冠者 榎本 元
次郎冠者 上田 圭輔
三郎冠者 大蔵 康誠
藤三郎の子 渡邊 文誇

伊文字 いもじ
女 善竹 十郎
主人 善竹大二郎
太郎冠者 野島 伸仁
道通りの者

抜殻 ぬけがら
太郎冠者 大蔵彌太郎
主人 大蔵 章照
休憩二十分

神舞 かみまい
八段之舞 小鼓 鳥山 直也
太鼓 大倉栄太郎
太鼓 金春 惣右衛門
栗林 祐輔

福部の神 ふくべのしん
勤入 紅梅殿 大蔵吉次郎
おおくら やすなり
おおくら 康誠
おおくら 榎本 元
おおくら 大蔵 基誠
おおくら 大蔵 教義
おおくら 大蔵 康誠
おおくら 榎本 元
おおくら 大蔵 基誠
おおくら 大蔵 教義

〈午後四時四十分頃終了予定〉

鶏猫 けいみょう

伊予の国。大名の飼猫が行方知れずになり、安否を報せた者には報償を与えようと高札が掲げられます。ほどなく少年が訴え出て、在所の藤三郎こそが犯人であると言上します。さっそく太郎・次郎・三郎の三冠者が赴き、藤三郎を捕えて大名の前に引立ててきます。大名に問い詰められるもシラをきる藤三郎。ところが証人として現れた少年は、なんと我が子。進退窮まった藤三郎、じつは秘蔵の鶏を啗えて逃げた猫を、大名のものと知らず打ち殺してしまつたのだと白状します。おのれ憎い奴、手打ちにしてくれよう、といきり立つ大名。するとその前に少年が立ち、報償として父親の助命を懇願するのでした。もしも叶わないのであれば、先に自分から成敗してほしいと涙を流す少年。この父子に大名が下した裁定は――？

伊文字 いもじ

いまだ妻を持たない主人は、太郎冠者を伴って清水の観世音へ妻乞いの祈願に訪れます。礼拝して神前で一晚を過すと、夢で観世音のお告げを授かります。翌日、お告げに示された場所に向かうと、そこには一人の女の姿が。問うてみると、たしかに夢のお告げの妻であると答えます。そこで迎えを送るために住まいを尋ねるのですが、女は「悉くば問うても来られ伊勢の国 伊勢寺元に住むぞわらわは」と歌を詠んで消えてしまいます。残された主人と太郎冠者は、女を迎えに行こうとさっきの歌をなぞりますが、どうしても「問うても来られ伊」の先が思い出せません。これでは女の居場所が分からない……と困り果てる二人。太郎冠者は一計を案じ、ここに「問」を設け、通りかかった者を無理やり止めて尋ねてみようと言ひ出します。

抜殻 ぬけがら

主人の想い人のもとへ使いを言いつかつた太郎冠者。用事の前に酒を振る舞ってくれと催促し、まんまと主人に酒を出させると、存分に呑んでから「機嫌で出発します。ところが、あまりにも酔っぱらってため、道半ばで眠り込んでしまいます。一方、心配して後を追ってきた主人。案の定、往來の真ん中で大の字になって眠りこけている太郎冠者を見つけ、ひとつ懲らしめてやろうと思案をめぐらせます。やがて目を覚ました太郎冠者。酔いざめの重い頭をすつきりさせようと近くの清水に赴き、水を飲むとと屈みこみますが、水面に映っているのは、おどろおどろしい鬼の顔！なんとということだ、寝ている間に鬼になってしまった……。悲嘆に暮れる太郎冠者。それでも、ほうほうのういで主人の元へと戻るのですが――。

福部の神勤入 ふくべのしん つとめいり

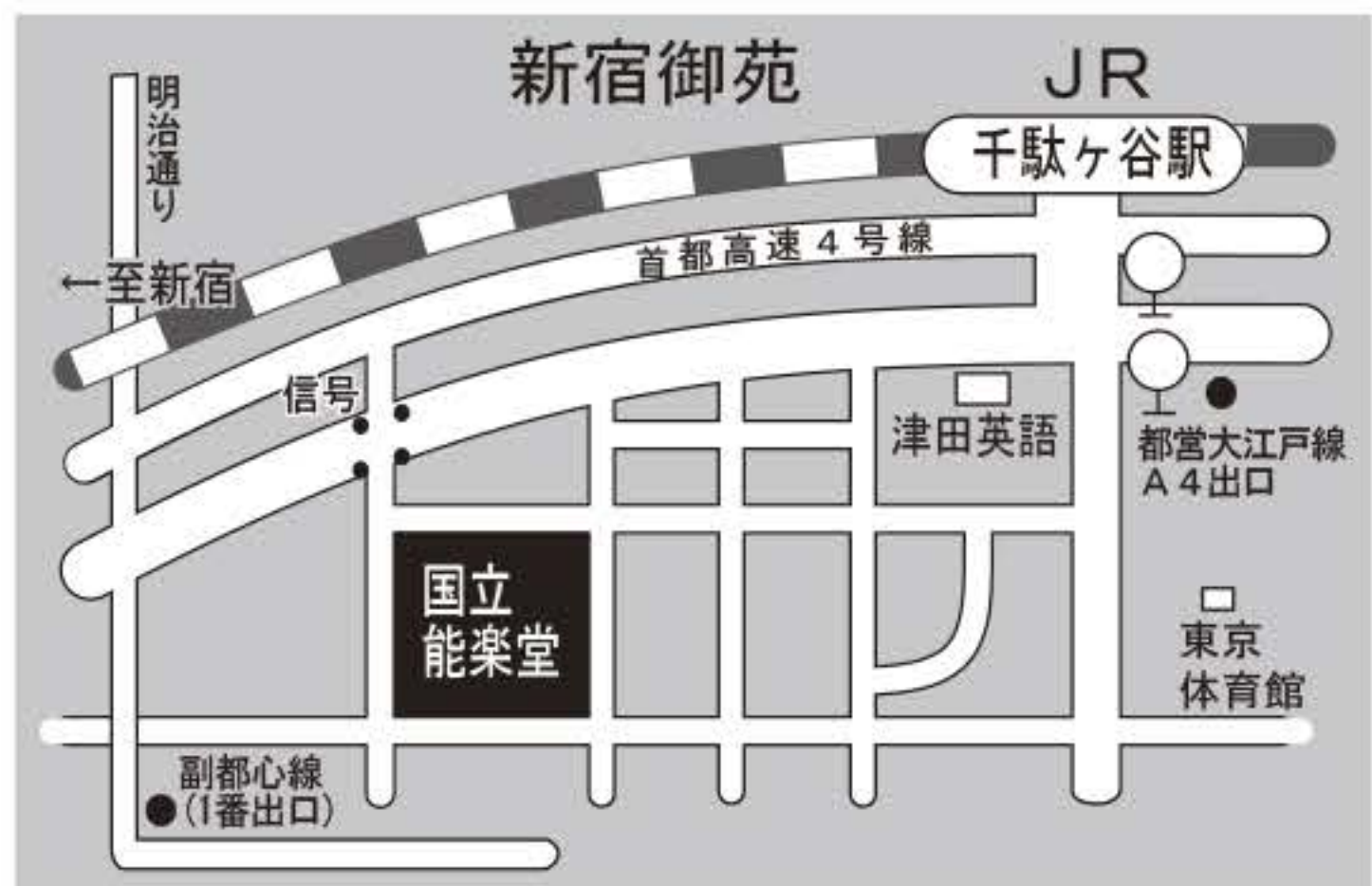
毎年、北野神社の末社、福部の神に参詣している都住まいの鉢叩き僧(念仏踊り)。いつものところで待っていると、同じように茶筌をぶら下げた僧を担い、瓢箪(ひょうたん)ふくべ)や鉦鼓(かね)を携えた鉢叩き僧たちがぞろぞろと現れます。合流して参詣へと赴く一行。やがて北野の社殿に到着し、礼拝を済ませると、例年どおり勤め(踊り念仏)を奉納し始めます。「善き光ぞと頼む、世の光ぞと頼む茶の経の佛のきよひよん」。瓢箪を打ち鳴らしながら走り回り、にぎやかに折りを捧げる鉢叩き僧たち。念仏を納め終えると、社殿はただならぬ雰囲気になります。すると紅梅殿の神(福部の神)が姿を顕し、これらの信仰の深さを讃え、今後の富貴榮華を約束すると、その様子を舞い納め、福殿の中へと消えていくのでした。

令和6年5月26日(日)
午後2時開演(午後1時15分開場)

FAXお申し込みフォーム 第24回 吉次郎狂言会 03-3329-5511

ご住所 〒		
お名前	お電話番号	
ご希望のチケットと枚数	席	枚

国立能楽堂 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 (03-3423-1331)



- JR(中央・総武線) 千駄ヶ谷駅下車(徒歩5分)
 - 都営地下鉄(大江戸線) 国立競技場駅下車(A4出口徒歩5分)
 - 東京メトロ(副都心線) 北参道駅下車(出口1 徒歩7分)
- ※駐車場がございませんのでお車での御来場はご遠慮下さい。
※チケットは日時をお確かめの上お申し込みください。
※チケットの払い戻しは致しかねます。ご了承ください。

主催/大蔵吉次郎 後援/大蔵吉次郎家後援会
〒168-0073 東京都杉並区下高井戸5-9-44

■チケット

- A席正面 8,000円(6,000円)
- B席脇正面 6,000円(4,000円)
- C席中正面 4,500円(2,500円)
- F席自由席 3,000円
- (脇正面後方)
- GBファミリー席
- 大 人 2,000円
- 小 人 1,000円

※()内は学生料金
※後援会員はA席、B席、C席は1,000円引きです。
※後援会割引、学生割引およびファミリー席は前売りのみです。
※ファミリー席の小人は未就学児～高校生です。

■お問い合わせ

大蔵流吉次郎狂言会
☎ : 03-3329-1835
✉ : info@kichijirou-kyougenkai.jp

■公式ホームページ

kichijirou-kyougenkai.jp

■チケット販売

フォームズ

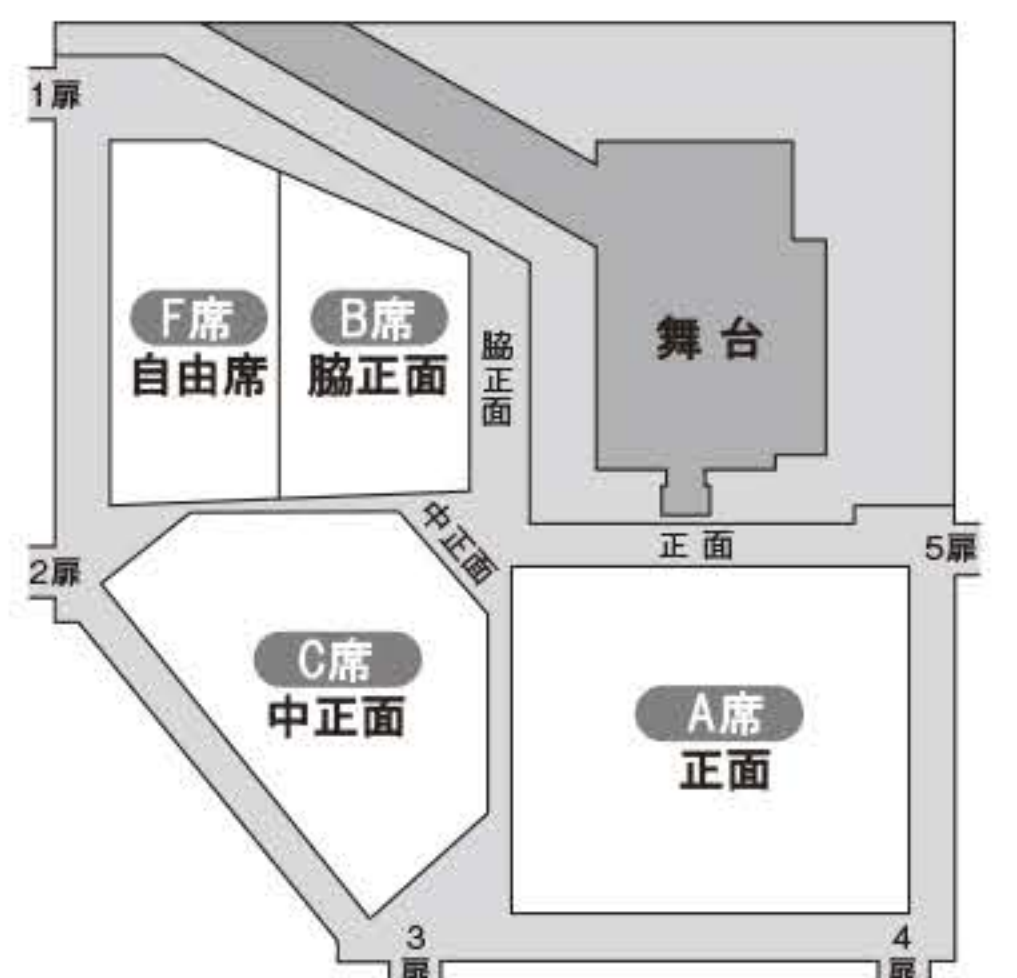


https://ws.formzu.net/dist/S792442911/

イープラス



https://eplus.jp/sf/detail/4061830001-P0030001



第二十四回
大藏流狂言

吉次郎狂言会

赦しと祈りと。

令和六年 五月二十六日(日)
於 国立能楽堂 午後二時開演

プレトーク 午後一時三十分

主催 大藏吉次郎
後援 大藏吉次郎家後援会

鶏 伊 文 猫
拔 伊 文 字
福 部 の 神 殻
勤 入